

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2014年4月16日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

消費税増税・社会保障改悪やめろ！

4・15 怒りの集会・パレード

4月15日の年金支給日、消費税増税や年金・生活保護引き下げなどの社会保障の改悪を行う悪政に抗議する宣伝・集会とパレードが、札幌中心街でおこなわれ、120名が参加しました（消費税廃止連絡会、道社保協などの共催）。

年金生活者・生活保護利用者・労働者が リレートーク

札幌・大通で行われた集会は、消費税廃止連絡会の池田事務局長が進行。年金生活者を代表して、年金者組合の渡部さん（写真上）、生活保護利用者を代表して生活と健康を守る会の



西塚さん（写真中）、労働者を代表して、劣悪な労働条件・低賃金の介護職場で働く宮部さん（写真下）が、それぞれ深刻な実態を訴えました。



3歳半の娘さんと二人暮らしで、働きながら生活保護を利用している西塚さんの発言から

「児童手当・児童扶養手当と給料ではたりず、生活保護を利用しています。昨年8月から月7千円減額となり（2週間分の食事代に相当）、できるだけ米を食べないようにしていました。冬期加算・期末一時扶助の減額、勤労特別控除の廃止などで、12月は前年と比べ5万5千円下がりました。そのため、小さくなっているのは気付いていましたが冬靴を新調してあげられませんでした。靴擦れをおこしていました。申し訳ない気持ちになりました。命と暮らしを守る生活保護の改悪をやめさせるために力をかけてください。

集会後は、ススキノまでパレードし、シュプレヒコールで、悪政への怒りを表し、改悪の中止と改善を求めました。パレードに対して、多くの市民のまなざしが優しく好意的でした。

第2回 STOP！消費税増税、年金・生活保護引き下げ、社会保障改悪 宣伝行動

日時 4月19日（土）10:00～16:00/場所 ちかホ 北大通交差点広場（東）

各団体から署名、ポスター・横断幕などをもって、会場にお集まり下さい。

医療提供体制の削減・改悪、介護制度を大改悪する

医療介護総合推進法案を廃案に 国会議員への働きかけを



安倍政権は、来週にも国会（衆議院厚労委員会）での実質審議入りをめざしています。民主党の一部に、反対を表明し徹底審議を求める国会議員も生まれています。道内選出の

国会議員への要請もすすみましょう。

衆議院厚労委員で道内選出議員
船橋利実議員（自） 国会事務所FAX 03-3508-3402

医 療	
入院ベッド	都道府県が地域医療ビジョンを策定し、医療機関が協議して削減・再編を進める。知事による強制措置も導入
人材対策	看護師に医療行為を委ねる制度導入
医療事故	第三者機関による調査制度
外国人医師	外国人医師による診療の緩和
介 護	
要支援者向けサービス	訪問介護と通所介護を市町村の事業に移して費用を削減
特別養護老人ホーム	新規入所者を要介護3以上に原則限定
利用料	1割→2割に引き上げ。合計所得160万円（年収入280万円以上）が対象
施設入所者補助	居住費・食費の補助を縮小。貯金1千万円（夫婦で2千万円）以上は対象外に

北海道からも、4.24ヒューマンチェーン（国会大包围）行動に参加し、国会事務所への要請を予定します。